



## 8/21・22 高梁って魅力がいっぱいだね (市内各所)

高梁の魅力を小学生に再発見してもらおうと「高梁すきすき探検隊2012」(市教委主催)が行われ、市内の小学3、4年生40人が参加しました。2日間にわたって行われたこの事業は、吉備国際大学の学生が資料を作成し、子どもたちに同行しました。

21日は、県内で生産量トップを誇る夏秋トマトを出荷している備中町のJAトマト選果場を見学し、場内のさまざまな作業工程について作業員から説明を受け、熱心にメモを取っていました。

## 9/1 2億年以上前の化石を発見 (成羽美術館ほか)

「成羽の化石産地見学会」(成羽美術館主催)が行われ、市内外から小学生から60代までの14人が参加しました。

館内化石展示室で講師の岡山大学、鈴木教授から成羽の化石の特徴等について説明を受けたあと、成羽町内で植物化石の採取を体験しました。

掘り出した石をハンマーで割りながら、化石かどうかを確認。めずらしい化石も発見され、参加者は貴重な体験を喜んでいました。



## 9/2 大規模水害に備えて (玉川町)

「水害特別防災訓練」(市主催)が行われ、市や消防団員、地域住民ら約300人が参加しました。

大規模な水害を想定して行われた今回の訓練では、避難誘導訓練や水門・樋門の確認、水防板の設置、炊き出しなどを行いました。

また、高梁川河川敷では土砂崩れによる家屋倒壊を想定した人命救助訓練や、水量増加による河川からの越水を想定した水防工法の訓練などが行われました。

暑い中の訓練となりましたが、参加者は真剣に取り組み、防災意識を高めていました。

▼高梁市地域おこし協力隊に、新しく委嘱された長野・エドウィン・タケルさんと佐藤拓也さん。取材で少しだけお話をさせていただきました。二人とも笑顔がすてきな青年です。長野さんは川上地域、佐藤さんは成羽地域で活動をされます。これから、どんな地域おこしや高梁のPRをしてくれるのでしょうか。期待しています。(KH)

▼成羽町で採取される植物化石の取材に行きました。大学教授の話では、昆虫の化石も発見できる可能性もあるとのこと。その日は植物化石のみの発見となりましたが、みんな楽しそうに化石を採取しているのが印象的でした。先日の愛らぶ高梁ふれあい広場のテーマは恐竜。高梁から本物の恐竜の化石が出たらどんなに盛り上がるだろうと考えながら、イベントを楽しみながら目を眺めていました。(TK)

▼スポーツの秋になりました。とにかく体を動かすのが好きな私には特別な季節です。昨年はヒルクライムチャレンジャーシリーズのフルコースを無謀にも家庭用自転車で走り、なんと1時間を切ってゴールすることができました。今年は、本格的なレース用の自転車で挑戦してみようと思っています。この秋、皆さんも何かに挑戦してみませんか？ (KY)



編集後記

# カメラあらし

Camera A la carte

まちの出来事



## 8/11 テレビの人気者が大集合 (川上マンガ絵ふた公園)

「マンガ絵ふた祭り」(同実行委員会主催)が行われ、市内外から訪れた多くの人でにぎわいました。この祭りは、漫画によるまちづくりの取り組みの一環として、平成7年から始まり今年で18回目となります。

地元の有志グループや職場仲間など8グループが約2カ月間かけて作った作品は、すべてが迫力満点。訪れた人々は、大きな拍手でその労をたたえるとともに、絵ふたを前に記念撮影を行っていました。

## 8/14~16 365年目の伝統を受け継ぐ (備中高梁駅前大通り)

県三大踊りに数えられる「備中たかはし松山踊り」(同実行委員会主催)が開かれました。

職域・団体連や子ども会連による盆踊りコンテスト、武士の伝統を受け継ぐ仕組み踊り、子ども音頭、精霊流し、氷の彫刻展などが行われ、大勢の家族連れや若者らでにぎわいました。

